

組織標本作製依頼の手順 — 固定後の組織の処理について —

**※パラフィンブロックからの薄切依頼の方は、依頼書を添えて、そのまま持ってきて下さい。**

1. 包埋用カセットを準備する



- ・所属にお持ちでない方は、上記担当へ事前に問い合わせして下さい。  
(試料の大きさに合わせてカセットの種類を選ぶ)

2. 組織の切出し **※骨組織及び石灰化等で薄切困難な組織は、脱灰処理をしておいて下さい。**



- ・大きさ (10円玉サイズ内を目安に)。
- ・厚さ (3~4mm、10円玉2枚重ね幅を目安に)。
- ・消化管等、短冊状に切出す際の高さは4mmまで。
- ・見たい面を決めておく (例・カセットの蓋側か底側か等)。
- ・表記は**黒鉛筆**でしっかりと記載する。  
(油性ペン等は有機溶剤で消失するため)

3. 蓋を閉じたら以下の処理 **(乾燥厳禁)**



- ・ホルマリン系固定の場合は、ビーカー等の容器に入れて水に漬けた状態で持ってくる。
- ・ブアン固定、カルノア固定の場合は、アルコールに漬けた状態で持ってくる。

**※ブアン固定組織は、固定終了後に必ず、数回のアルコール交換によるピクリン酸除去処理を行って下さい。**

4. その他

受付日 : 月曜 ~ 木曜 (土日・祝前日不可)

受付時間 : 午後4時30分迄

処理総数 : カセット150個迄/日

- ・他、不明な点等がございましたら、上記担当までお問い合わせ下さい。
- ・**申し込みの際は、必ず担当職員へ声をかけて下さい。**